

大根地山 (おおねちやま)

福岡県筑紫野市 2024年 11月14日

神功皇后の神話が残る信仰の山



大根地山山頂から宝満山や三郡山を望む

本日のコース <全行程 3時間27分>

大根地山登山口(200号線沿いの大根地神社看板地点) 九州自然歩道の冷水峠 9:46 →
＜長崎街道・コンクリート道の一本道＞ → レインボーファン 9:56 →
冷水峠 郡境碑分岐 9:58 → ＜鳥居の並ぶ石段を上る＞ → 大根地神社登口 10:16 →
大根地神社駐車場 10:21 → ベンチで休憩 10:22 → 烏帽子岩 10:51 →
大根地神社 11:03 → 大根地山山頂 11:23 <昼食> 12:10 →
大根地神社 12:21 → 烏帽子岩 12:28 → 冷水峠 郡境碑分岐 13:04 →
大根地山登山口(200号線沿いの大根地神社看板地点) 九州自然歩道の冷水峠 13:13

今回は初挑戦の大根地山。この山への登山道の一部は、歴史ある長崎街道である。歴史上の人物(吉田松陰・坂本龍馬・河井継之助・西郷隆盛・大隈重信・乃木希典など)が実際に歩いた道に足を踏み入れることは、日本国の為に奔走した先人に想いを馳せる時間でもある。



大根地山登山口(200号線沿いの大根地神社看板地点) 9:46

ここは九州自然歩道の冷水峠地点にもなっている

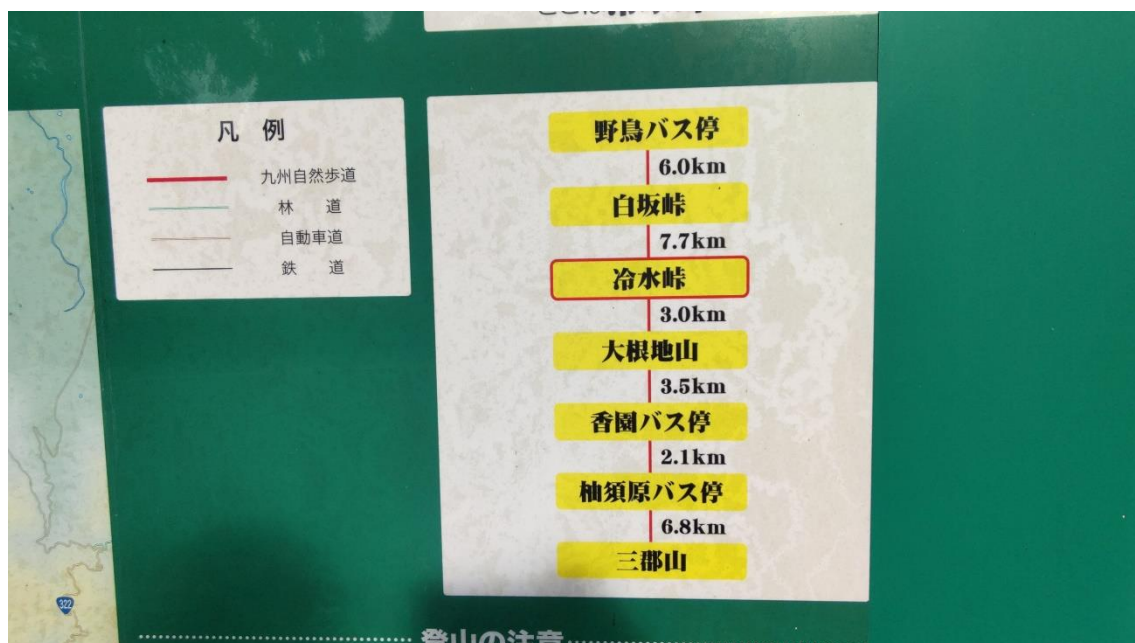
鳥居を潜るとスタートなのだが、まずは九州自然歩道の説明標識をチェック！



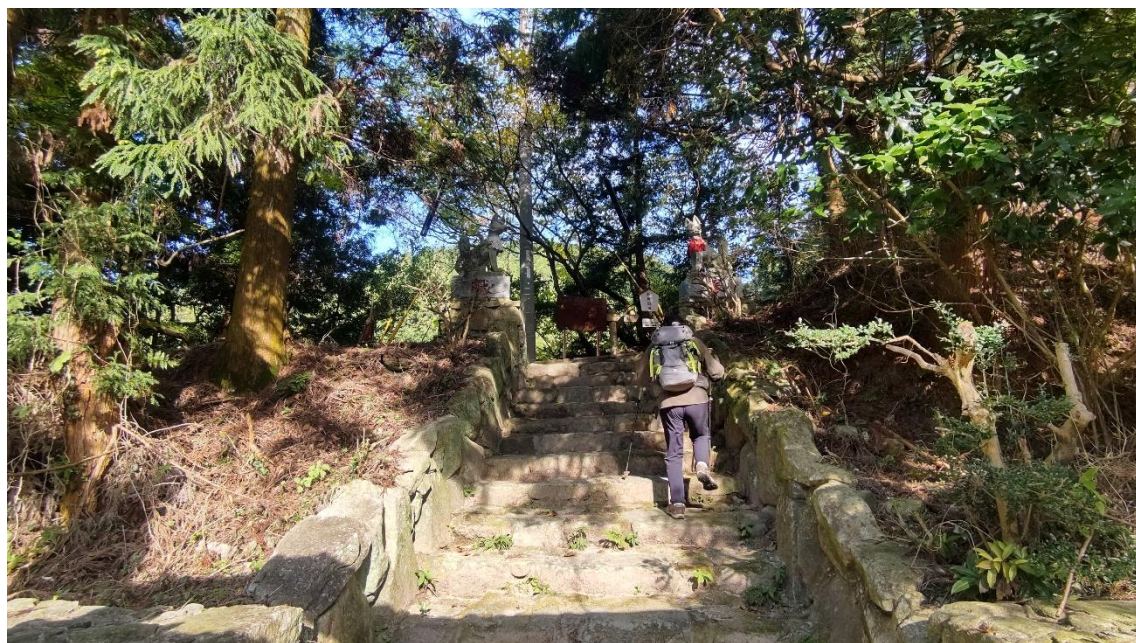
スタートの前に地図でルート概要を確認(鳥居横)

T師匠からの説明を受ける

どうやらここは冷水トンネルの真上にあたるらしい



九州自然歩道は三郡山まで続いている
 15年程前、10時間以上かけて、笹栗駅～若杉山～三郡山～宝満山～大宰府駅まで
 三郡縦走をしたことを思い出した。
 元気があれば、ここから三郡山や宝満山まで挑戦してみたい気もするが・・・
 今の衰えた体力では自信がない



いよいよスタート 9:47
 鳥居を潜って石段を上る。上り詰めると長崎街道だ。(九州自然歩道でもある)



石段を上り詰めると狛犬？いやキツネだ！

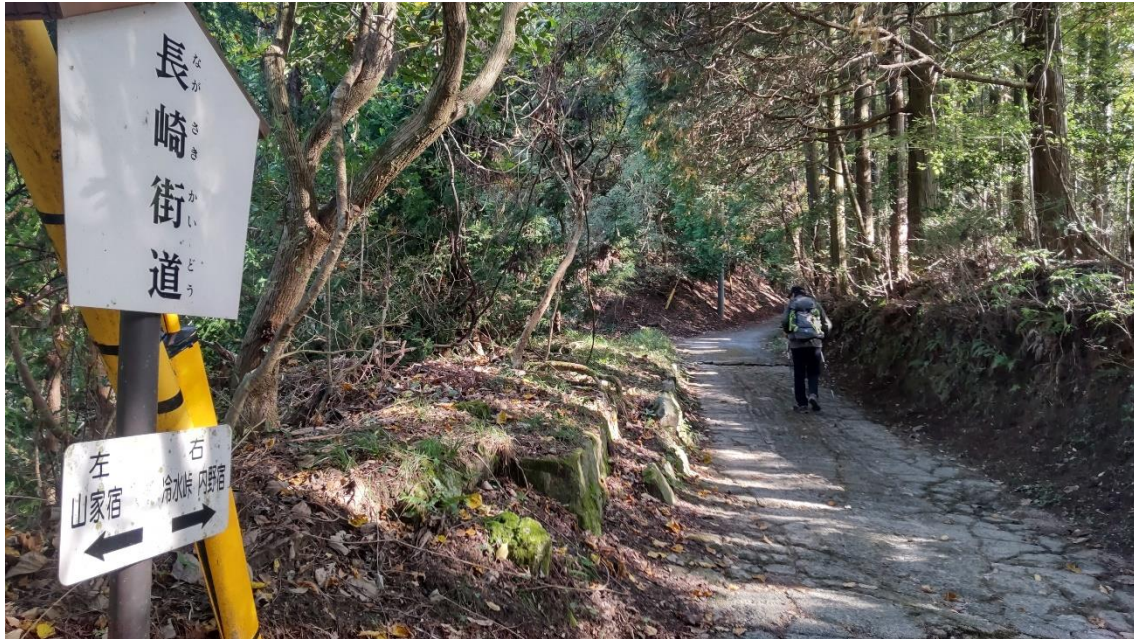
通常、神社の狛犬は阿吽(あ・うん)で、口を開けているか、閉じているのだが、
キツネは何か玉のような物をくわえている。

調べてみると、キツネがくわえている物は4種類あり、①稲穂(五穀豊穡)、②巻物(知恵)、③玉(お稲荷さんの霊徳)、④鍵(お稲荷さんの霊徳を身に着けようとする行為)ということだった。霊徳とは神社で言う「ご利益」にあたり、霊徳にあやかるためには品行方正であらねばならない。「神様は見ていますよ」と言うことになる。尚、お稲荷さんには火伏(火避け)にもご利益があるとわれ、昔の人は火事が大敵だったので、お稲荷さんにすがったのだと思われる。



冷水峠 9:48 長崎街道に出たら大根地神社方面の右へ！

長崎街道で一番の難所が冷水峠であった。この峠をシーボルト、吉田松陰、伊能忠敬など幾多の人々や將軍徳川吉宗への献上像が通っている。シーボルトは日記に動植物のこと、革靴よりわらじがすばりにくいこと、峠の宿で主人から使節に土産を贈られ、杉板の上に並べたキジと卵で酒宴に招かれたことを記している。(説明板より)



<長崎街道・コンクリート道の一本道> 9:48
一部だが、当時からの街道の敷石も見ることが出来る。



綺麗に整備されている 9:55 静かな植林帯の中を歩いて行くと…
この道は長崎街道並びに大根地神社の参拝道となっている



レインボーファン 9:56

進行方向に向かって左側の谷の一面に、グリーンの芝生のような景観が広がっていた。
レインボーファンと呼ばれているらしいが、いったいこれは何だろう？

レインボーファンは中国南部を原産とするイワヒバ科イワヒバ属の常緑多年草です。コンテリクラマゴケと言う別名がありますが、実際はコケではなくシダ植物です。エメラルドグリーンの小さな葉がふさふさと茂るのが特徴で、光が当たると葉色に変化してキラキラと光ります。角度によって様々な色に見えることからレインボーファンと呼ばれています。(ネット調べ)



レインボーファンのアップ



冷水峠 郡境碑分岐 9:58

大根地神社へのコンクリート道は左にカーブして続いているが、標識がたくさんある地点まで行ってみた。長崎街道は直進となっており、この標識群を通過して進むと首なし地蔵方面。



標識群の右横から大根地神社の鳥居が幾つも連なり、石段が上方へ続いている。
それならば、神社へ通じているはずだと、鳥居を潜って上って行った。



ここは郡境碑分岐になっている。



長崎街道の説明標識 冷水峠

ここは長崎街道の冷水峠です。江戸時代、長崎街道は海外との窓口であった長崎と江戸とを結ぶ大動脈でした。内野宿・山家宿間にあるこの峠は大変な難所でしたが、参勤交代の大名やオランダ商館長一行など多くの人や物が往来しました。峠には郡境石が建ち、内野宿へ下る道には石畳が今も残っています。峠から約500m下ると、「冷水」の由来とも言われる小川が流れ、そのほとりには首なし地藏や文政年間の石橋も残り、往時の情景をしのぶことができます。

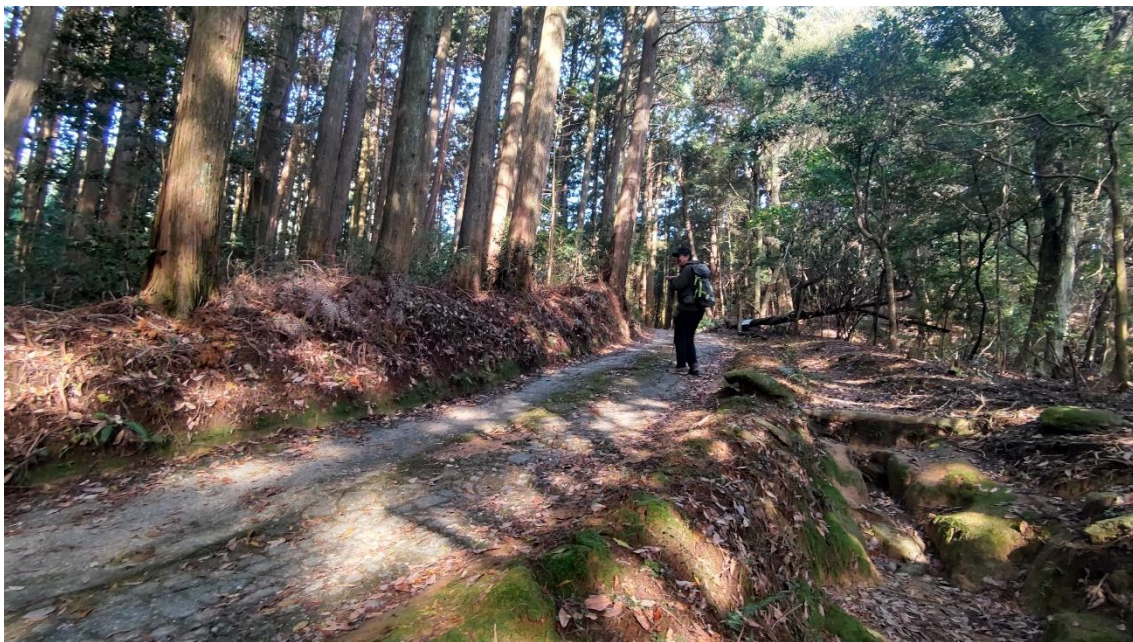


鳥居の並ぶ石段を上って行く 10:00 狛犬ではなくキツネ

稲荷神社では狛犬の代わりにキツネの像が安置されています。それらのキツネは境内を守っているのではなく、ご祭神である稲荷神のお使い(神使)なので境内に控えているのです。参詣者のご祭神をとりもつ役目ともいえます。(ネット調べ)



続いて赤い鳥居も潜る 10:01 ん？ この鳥居の社額には「朝近神社」となっている
少し調べてみると、大根地山には大根地神社の他にも神社が存在し、朝近神社は神功皇后が
羽白熊鷹を討つ前に勝利を願って神楽を舞ったとされる神社と言われているようだ。



鳥居を潜って上り詰めると、郡境碑分岐で左にカーブしたコンクリート道と合流した 10:02



黙々と歩く。相変わらずのコンクリート道が続くなあ～ 10:10 と思ったら・・・



ショートカットコース 10:15
コンクリート道から右手に登る登山道が現れた



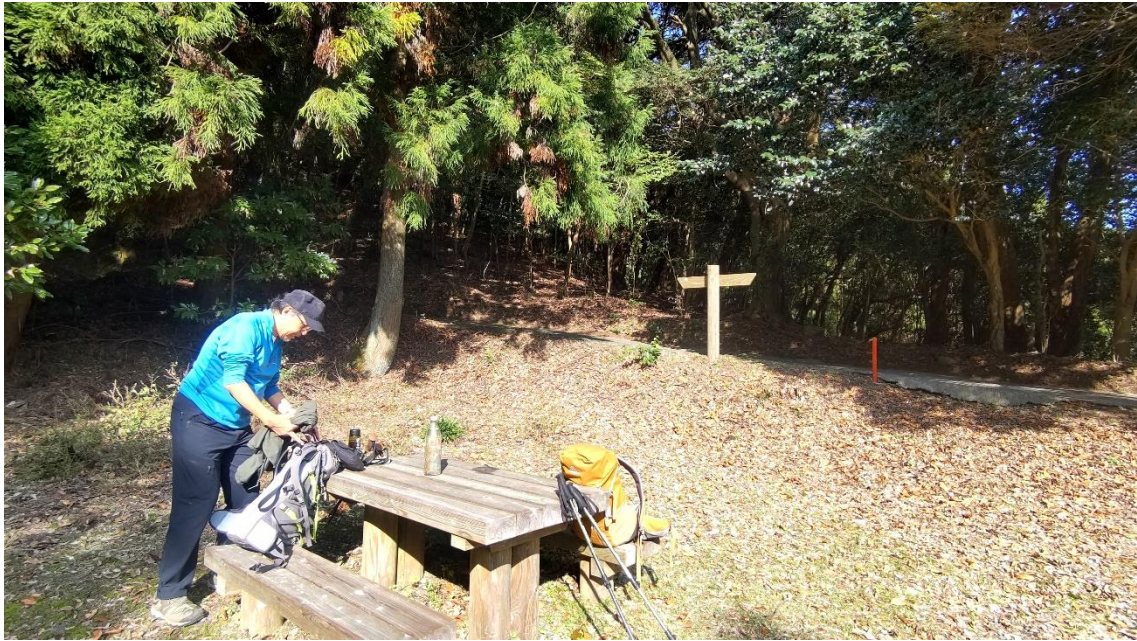
大根地神社 登口 10:16
ずっとコンクリート道なので普通の登山道が歩きたいと思っていたところだった
右手の登山道に突入！
大根地神社までこの道で直通かと思いきや・・・



あっという間に本道に合流 10:20 物足りなかった
また単調なコンクリート道だ！



大根地神社駐車場 10:21 車は1台も停まっていない
駐車場の奥にベンチがポツンと一つ
休憩していこう！



ベンチで休憩 10:22 最近はのんびり登山が当たり前
暑くなったので上着を脱いで水分補給



休憩終了で再スタート 10:26 道標を見ると大根地神社まではまだ1km



コンクリート道に石が埋め込まれている 10:34 冬は雪が積り、凍結も酷いのだろう
滑り止めにはゴツゴツとして半端ない



大根地山のアカガシ群落

アカガシはドングリの仲間であるブナ科の常緑高木で、その名前は材の色が赤いことに由来します。このアカガシを主体としたアカガシ群落は、照葉樹林帯最上部の群落で、北部九州の山地に特徴的に分布します。アカガシは薪炭材や各種用材に適していることから、古くから定期的な伐採を受け、しばしば純林状の萌芽林を形成していますが、自然林として極相状態で安定した群落は数少なくなっています。大根地山山腹の大部分はスギやヒノキの人工林となっていますが、中腹から上部にはタブノキやシイ等をともなう貴重な天然のアカガシ群落が残されており、林野庁の「大根地植物群落保護林」に指定されています。



烏帽子岩と大根地神社の赤い鳥居 10:51

社伝によれば、神功皇后が羽白熊鷲(はじろのくまわし)を討ちに行く際に登り、天神七代・地神五代の神々を祀り、勝利を祈ったのが大根地神社の始まりとされています。神功皇后がこの山で一夜を過ごしたことから、山名が寝手山・寝床山となり、尊称も込めて大根地山に転じたとされます。(ネット調べ)



神功皇后羽白熊襲御征伐指揮の地 烏帽子岩

鳥居の脇には神功皇后が腰掛け、下界を見下ろした烏帽子岩がある。神功皇后は、この岩で羽白熊鷲征伐を指揮したと伝えられています。(ネット調べ)

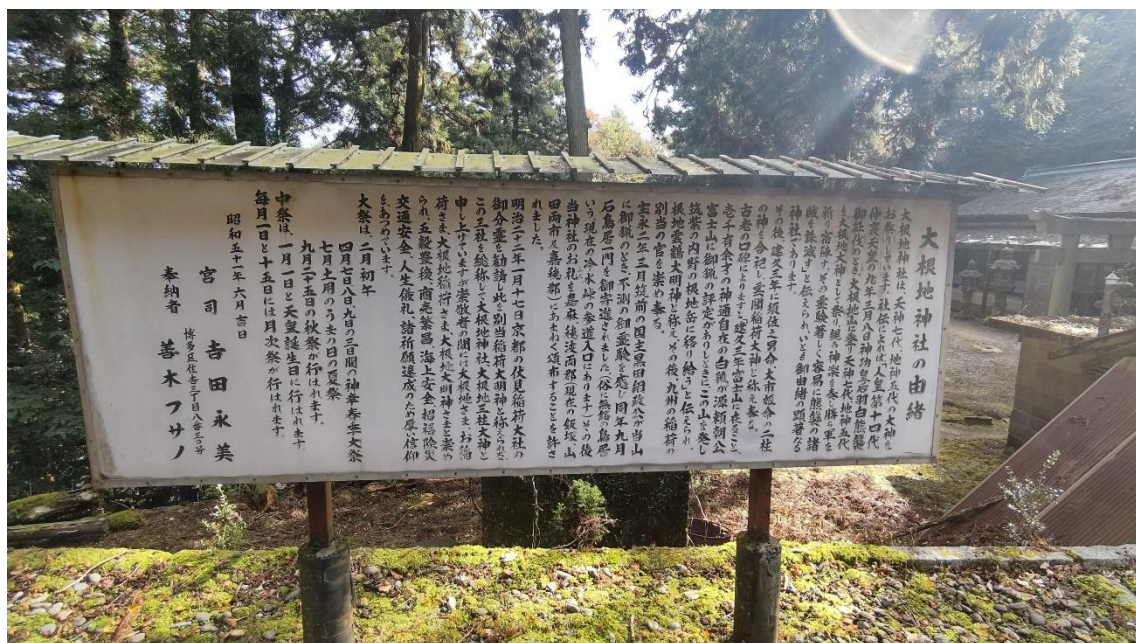


大根地神社の境内へ 10:59

大根地山山頂にある大根地神社は、古くから英彦山や宝満山の山伏らの修験の場でもありました。毎年4月8日、内野関屋の老松神社で行われる神幸祭は、大根地神社の神霊が下りてこられるもので、御鎮座記念の祭りであるといわれています。神社には別当稲荷、雲閣稲荷も祭られており、2月初めのうまの日には遠近からの参拝者で賑わいます。(境内説明板より)



左側に並ぶ木造の建物は古びてボロボロ。今にも倒壊しそうな感じだった。
誰もいない境内を歩く



大根地神社の由緒

大根地神社は、天神七代、地神五代の大神をお祭りしています。

社伝によれば「人皇第十四代仲哀天皇の九年三月八日の神功皇后羽白熊襲御征伐のとき、大根地神社に登り天神七代、地神五代を大根地大神として祭り、親ら神楽を奏し勝ち軍を祈り宿陣す。その靈験著しく容易に熊襲の諸賊を誅滅す」と伝えられ、いとも御由緒の顕著なる神社であります。その後、建久三年に須佐之男命、大市姫命の二柱の神を合祀し、雲閣稲荷大神を称え奉る。

古老の口碑によりますと「建久三年富士山に在ること、壹千有余才の神通自在の白狐が源頼朝公富士山に御獵の評定がありしときに、この山を発し筑紫の内野の根地岳に移り給う」と伝えられ、根地雲閣大明神と称え、その後、九州の稲荷の別当の官を崇め奉る。

宝永二年三月筑前の国主黒田綱政公が当山に御獵のとき、不測の御靈験を感じ同年九月石鳥居一門を御寄進されました。(俗に無銘の鳥居いう、現在の冷水峠の参道入口にあります)その後、当神社のお札を嘉麻、穂波両郡(現在の飯塚、山田両市及嘉穂郡)にあまねく頒布することを許されました。

明治二十二年一月十七日、京都の伏見稲荷大社の御分霊を勧請し此を別当稲荷大明神と称えられる。この三社を総称して大根地神社、大根地三柱大神と申し上げていますが、崇敬者の間には大根地さま、お稲荷さま、大根地稲荷さま、大根地大明神さまと崇められ、五穀豊穰、商売繁盛、海上安全、招福除災、交通安全、人生儀礼、所祈願達成のため厚い信仰をあつめています。(説明看板より抜粋)



大根地神社 11:03 登山安全祈念と御礼参拝
社務所は土日祝しか開いていないらしい
この大根地神社は大根地山の9合目に位置している。

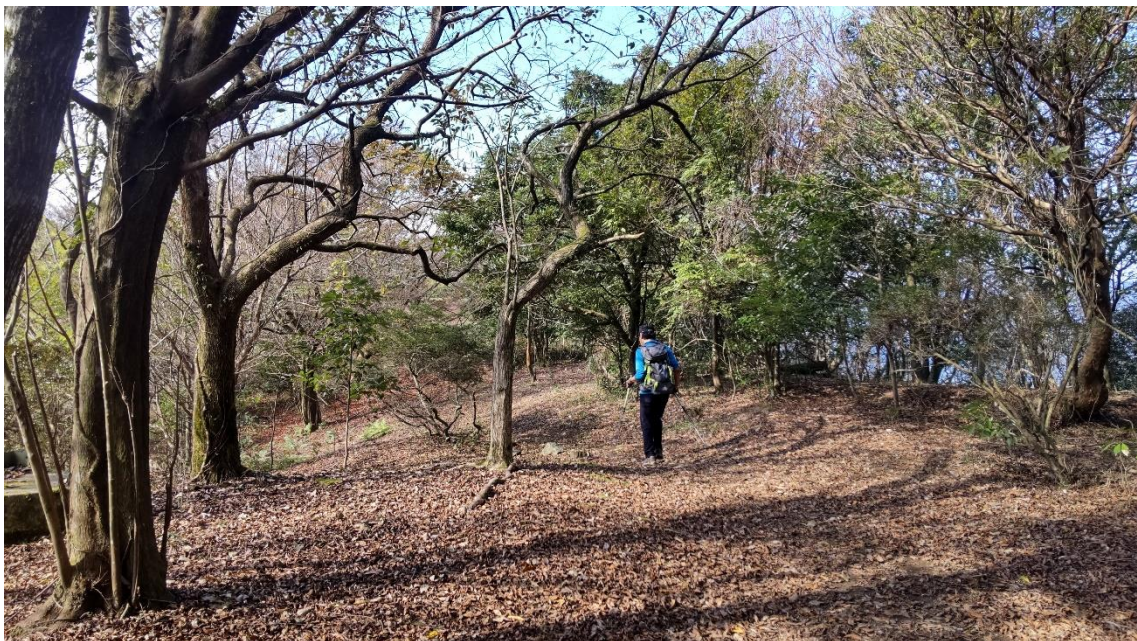
大根地神社参拝も終え、大根地山山頂へ！



神社境内を出て倉庫の横を通って山頂を目指す！ 11:13



道標に沿って進む 11:14
「展望良し」の文字に期待が膨らむ



山頂まではなだらかな上り 11:21
山頂一帯は自然林。登山道は整備されている。



大根地山山頂 11:23 <昼食> 651m

山頂部は広くて亀の甲羅のような丸い形。草刈りなど綺麗に整備されて気持ち良かった。
そして正面に三郡山と宝満山がバッチリ見える！



反対側の朝倉方面を眺めるが、耳納連山は雲の中。



青空に綺麗な秋の雲。これはスジ雲だろうか？ 三郡山のレーダードームも見える。



山頂広場のベンチで昼食。 その後、大根地山山頂碑と記念撮影

遠くに見える宝満山や三郡山にも別れを告げて下山開始 12:10



大根地神社の鳥居を潜って通過 12:21



烏帽子岩とアカガシ群落を通過 12:28



冷水峠 郡境碑分岐に戻ってきた 13:04 通過
快調に下山。のんびり歩くので休憩はなし。



大根地山登山口(200号線沿いの大根地神社看板地点) 九州自然歩道の冷水峠 13:13

あっという間にゴール

下山タイムは1時間と3分

今回は、一部だが長崎街道を歩くことが出来て、少し得した気分の山行きだった。

3時間27分の山歩きが無事に終了。

スマホの歩数計は 11223 歩。T師匠お世話になりました。

お疲れさまでした。